

**3Fホール ガラスケース** ~12/20(日)

日比谷カレッジ「**ドナルド・キーンと日記**」関連展示  
ドナルド・キーン氏と太平洋戦争のつながりを紹介するパネルや、ドナルド・キーン氏を感動させた日本兵の日記の複製、彼の著作や日記文学など、関連図書を展示しています。

- 「太平洋戦争とドナルド・キーン」パネル  
協力:ドナルド・キーン・センター柏崎、読売新聞社
- 「日本兵の日記」複製 協力:読売新聞社
- 「1945年8月15日の個人の日記」協力:女性の日記から学ぶ会
- ドナルド・キーンと日記 関連図書



▲ガラスケースには、1945年8月15日の個人の日記も展示中。日記の楽しみや日常の記録・アーカイブとしての大切さを感じることができないでしょうか。  
「ドナルド・キーンと日記」の詳しい講座内容は中面をご覧ください。

**日比谷カレッジ報告**  
名作初版本の魅力  
——『名著複製全集』で辿る——  
講師:倉和男 (元近代文学館編集室長)

日本近代文学館「名著複製全集」より選りすぐりのタイトルを、作家別、装幀の特色別、流派別などに分け、装幀・仕様をスクリーンで映しながら、冊子で丁寧に解説がなされました。初版本にどれだけ近づけるかに苦心し、紙漉きなどの様々な職人達の努力と共に、新しい技術も織り込んだ複製版に、文学と美術が融合した美しい書籍を堪能した講座でした。

10/28(水)

実際の「名著複製全集」を会場内に展示  
坪内逍遙『当世書生気質』見開き屏風の解説をする倉氏

**Service News** サービス・ニュース

**本を紛失または汚してしまったときは…**

- ▶ **本をなくしてしまった場合**  
まずは心当たりをよく探してみてください。それでも紛失したことが間違いないという場合は、すぐに図書館へご連絡ください。
  - ▶ **本を汚したり、破いてしまった場合**  
ご自身では修理せずにそのままの状態でご覧ください。図書館の専門用具で修理を行います。
  - ▶ **本を濡らしてしまった場合**  
乾燥させずなるべく早く図書館までお持ちください。水分を取り除くために紙を挟み、プレス機にかけるなどして、本が波打たないようにできる限り修復します。
- ※紛失や大きな汚れ、またひどく傷んで次の方にお貸しできない状態のときは、同じ資料をご購入いただく場合があります。

**3F グリーンゾーン**

【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

各ゾーン巡回展示 **〇〇論・〇〇史** ~2/12(金)

各ゾーン巡回展示「〇〇論・〇〇史」の第4弾です。今回の展示では、グリーンゾーンで扱っている人文科学・社会科学・自然科学など多岐に渡る分野の中から、図書館論、幸福論、食の歴史、交通論、住処論、宇宙論など14のテーマを紹介しています。今まで手にすることのなかった一冊との出会いがあるかもしれません。是非ご覧ください。

【モノづくり論】 **ニッポンのエンジニアたちの奮闘が伝わってきます。**

【食の歴史】 **人類始まって以来の深遠なテーマ、「食」について考えます。**

**12月の展示情報** Exhibit Information

- 各ゾーン巡回展示「〇〇論・〇〇史」  
江戸、東京に関する豊富な資料の中から〇〇論〇〇史と銘打ち、展示を行っています。風景史、建築史、事件史…など、江戸と東京の意外な一面が垣間見えるかもしれません。(~/15)
- 2Fパープルゾーン  
江戸、東京に関する豊富な資料の中から〇〇論〇〇史と銘打ち、展示を行っています。風景史、建築史、事件史…など、江戸と東京の意外な一面が垣間見えるかもしれません。(~/15)
- 3Fブルーゾーン  
ブルーゾーンの特徴でもある芸術、文学、そして映画にジャンルを絞り、気になるワードを取り上げ更新していく展示です。(~/12/18)

- 2Fホール 「障害者週間」パネル展示(11/29~12/20) **NEW!**
- 2Fホール 巡回展「千代田区文化芸術プラン」パネル展示 **NEW!**  
※11/29~パープルゾーン三角台

**わたしの一冊**  
当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめする人、図書フロア 林奈々緒

アーサー・ランサム全集1 『ツバメ号とアマゾン号』  
アーサー・ランサム著 岩田欣三、神宮輝大訳

シリーズはどれも400ページ以上にわたる長いお話ですが、小学生の頃夢中になって読み、今も定期的に読みたくなる本です。休暇で湖水地方に遊びに来たウォーカー4兄弟がツバメ号と出会い、アマゾン号を保有するブラケット姉妹とともに小さな帆船を操って探検に出かけます。帆船の操作描写や子どもたちの心理描写の巧みさが、胸をわくわくさせてくれる一冊です。

岩波書店 / 1967年  
イギリス湖水地方を舞台にした、休暇中の子どもたちの冒険が書かれたシリーズの第一作目。

**「海外渡航」から始まる近代日本。**

特別研究室企画展示  
**明治日本のリーダーたちの海外渡航**  
~『米欧回覧実記』をはじめとして~

江戸時代末の万延元年遣米使節の派遣や明治維新後の岩倉使節団の世界周遊は、明治日本の国づくりに大きな役割を果たしました。本展示では特別研究室所蔵の幕末・明治期に海外経験をした日本人に関する本を通して、彼らが成し遂げたことや、現代社会でも参考になる生き方、考え方などを紹介します。

入場無料

▲ブキャナン大統領へ公式謁見「万延元年遣米使節図録」より(田中一貞/1920年/特別研究室蔵)

- 【展示構成】
- ◆ 万延元年遣米使節団について  
『万延元年第一遣米使節日記』(1918年)『万延元年遣米使節図録』(1920年)など
  - ◆ 岩倉使節団について  
『特命全權大使 米欧回覧実記』(1878年)『幕末明治文化変遷史』(1928年)など
  - ◆ 関連人物の図書  
福沢諭吉、金子堅太郎、福地源一郎、大久保利通、小村寿太郎など
- 会期:開催中~12月28日(月)※休館日:12月21日(月)  
開室時間:平日 10:00~20:00、土曜 10:00~18:00、日曜・祝日 10:00~16:00  
会場:4階 特別研究室  
入場料:無料

12/2(水) 【関連講座】古書で紐解く近現代史セミナー  
**岩倉使節団は明治日本に何をもたらしたのか(全3回) 第3回「伊藤博文に見るリーダーの資質」**  
講師:泉 三郎(NPO法人 米欧回覧の会理事長)  
岩倉使節団から何人かの人物を取り上げて彼らの事蹟を紹介する本講座。第3回目は、伊藤博文の仕事、特に明治憲法と日清・日露戦争を中心に追跡し、あわせて彼の周辺人物の仕事ぶりも紹介します。

日時:12月2日(水)19:00~20:30 (18:30より受付)  
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
定員:60名  
参加費:1000円(千代田区民500円)  
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

calendar 開館時間:平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2015年 12月					2016年 1月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
			1	2					1
			3	4					2
6	7	8	9	10	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	10	11	12	13	14
20	21	22	23	24	17	18	19	20	21
27	28	29	30	31	24	31	25	26	27

※12月29日(火)~1月3日(日)→年末年始休館  
※1月16日(土)、1月17日(日)→図書特別整理による部分(図書フロア)休館

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館  
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

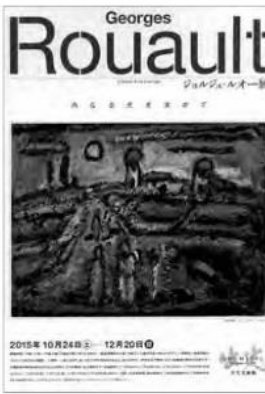
access  
都営地下鉄  
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
東京メトロ  
●丸ノ内線  
●日比谷線  
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分  
●千代田線  
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分  
JR「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

# 12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。  
「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 12/3 (木) 展覧会への入口講座Vol.18 出光美術館 × 日比谷図書文化館 ジョルジュ・ルオー

—作品の魅力と日本における人気の秘密をさぐる—  
講師：八波 浩一(出光美術館 学芸課長代理)  
20世紀フランスの宗教画家ジョルジュ・ルオー(1871-1958)。出光美術館には連作油彩画《受難》や銅版画集『ミセレーレ』などの大作が所蔵され、人気を集めています。キリスト教国でない日本でなぜルオーが愛されているのか。作品の魅力とともに人気の謎にせまります。  
■日時：12月3日(木)19:00~20:30(18:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名  
■参加費：1000円(千代田区民500円)



## 12/4 (金) 江戸歴史講座 第36回 十返舎一九生誕250年記念 江戸時代の旅の文学

—十返舎一九作『東海道中膝栗毛』—  
講師：中山 尚夫(東洋大学文学部教授)  
江戸時代には街道の整備がすすみ、旅は庶民にとって身近なものになった。多くの旅の文学の中で、庶民に最も親しまれた作品が江戸時代後期に出版された十返舎一九の『東海道中膝栗毛』である。この作品の特徴や今年生誕250年を迎えた作者、一九について考えてみたい。  
■日時：12月4日(金)19:00~20:30(18:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名  
■参加費：1000円(千代田区民500円)



## 12/8 (火) ドナルド・キーンと日記 ~日本兵の日記との出会いから日本文学研究への道のり

講師：中津 義人(ドナルド・キーン・センター柏崎 プランニングアドバイザー)  
ドナルド・キーンの日本文学研究者としての原点は太平洋戦争。語学士官として解読した日本兵の日記との出会いが、後に日本文学の系譜は日記文学にあるとの発見につながり、『百代の過客』『日本人の戦争 作家の日記を読む』に結実する。ドナルド・キーンの人となり、仕事について語る。(協力：ドナルド・キーン・センター柏崎)  
■日時：12月8日(火)14:00~16:00(13:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名  
■参加費：500円



▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 12/9 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス2015 ワークショップ実践編：『イノベティブ思考が育つワークショップのデザイン』

講師：富田 欣和(慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師)  
渡辺 今日子(慶應義塾大学大学院SDM研究科特任助教)  
高坂 有良(慶應義塾大学大学院SDM研究所研究員)  
イノベティブ思考を実務に活かしたい方や、上司やチームメンバーをどう巻き込めばよいか分らずに悩んでいる方にお薦めのワークショップです。「どうすれば関係者の理解を得やすいのか」、「どのようにチームで課題に取り組めば良いのか」を、多くの企業を支援してきた経験を踏まえてお伝えします。(共催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント(SDM)研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)  
■日時：12月9日(水)19:00~21:00(18:30より受付)  
■会場：4階 セミナールームA(会議室) ■定員：24名 ■参加費：2000円



## 12/12 (土) 戦争とモーツァルト(全2回) 第1回「大戦下の演奏家たち」

講師：大原 哲夫(エディター、作家)  
過酷な戦時下において、モーツァルトの曲の持つ、深い哀しみ、限らない喜びは、演奏家に何をもたらしたのか。ジャワ島の日本軍の収容所に入れられたシモン・ゴールドベルク、リリー・クラウスなどの演奏家たちが音盤に残した歴史的名演奏を最高の音質で復刻されたCD音源で聴く。  
■日時：12月12日(土)14:00~15:50 ※途中休憩あり(13:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：1000円  
〈第2回〉「モーツァルトの政治利用」  
・日時：1月23日(土)14:00~15:50(13:30より受付)  
1941年のモーツァルト没後150年祭は、ナチスによるプロパガンダでもあった。ナチスの弾圧下で音楽家たちはどう生きたのか、名演奏とともに歴史的文脈の中で振り返る。



## 12/13 (日) ピースビレッジ 第37回 「21世紀のキャリア論：我々は変化の時代をどう生きるか」

講師：池田 秀一(人材育成コンサルタント)  
「自分の生き方」を考える時、他人の成功哲学や常識を当てはめようとしていませんか。今の社会の前提が通用しない未来を生きるために、何を拠り所として人生の意思決定をすれば良いのでしょうか。多くの若者達と向き合ってきた経験をシェアしながら、「21世紀のキャリア論」を考えたいと思います。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)  
■日時：12月13日(日)14:00~16:30(13:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：3000円  
〈次回予告〉ピースビレッジ第38回  
「外側の世界でなく、自分自身の変容で、イノベーションを起こす」  
・日時：1月16日(土)14:00~16:30(13:30より受付)  
・講師：松田 創(株式会社イワ・クリエイティブ代表取締役)



## 1/19 (火) 世界の音楽 第4回 『月琴の世界』 ~幕末に流行した明清楽の代表楽器を知る~

講師：稲見 恵七(明清楽研究者)  
清楽は文化文政年間(1817~1830)に長崎に伝わり、その後東上して大流行しました。清楽で使用される楽器は20種類ほどあり、なかでも代表的な楽器が月琴です。当初中国からの輸入が主でしたが、後に国内の和楽器職人などにより緻密で精巧な細工を施され、現在まで大切に伝えられて来ました。そんな月琴の歴史や造型の美しさを、音と共に楽しみます。  
■日時：1月19日(火)19:00~20:30(18:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



## 1/20 (水) 本を読むことの愉しさ、深さ、おそろしさ(全3回) 第1回「若者よ、都市を捨てて、本を読もう —いま、寺山修司を回転させる」

講師：小林 康夫(青山学院大学特任教授)  
寺山修司が若者へ「書を捨てよ、町へ出よう」と激しい言葉を投げつけてから半世紀が経った今、若者は「情報」という無時間なものが溢れているだけの「インターネット」という《都市》のなかに住みつき、書を顧みること益々稀です。一方、本の頁をあげると、そこからは「生きた時間」の香りが立ち昇ります。寺山修司の「生きた時間」の輝きをつかみ取ろうと、一みなさんといっしょに一試みます。(主催：上廣倫理財財) (11月26日申込受付開始)  
■日時：1月20日(水)18:30~20:00(18:00より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。  
〈第2・3回予告〉  
▶日時：2月10日(水)18:30~20:00「読書のチェス・プレイ ~文学的<読み>を勝負する」・ゲスト：朝吹 真理子(作家) (12月25日申込受付開始)  
▶日時：3月2日(水)18:30~20:00「言葉の光を求めて ~見知らぬ土地を歩くように~」・ゲスト：黛まどか(俳人) (2016年1月25日申込受付開始)



## 1/21 (木) ひとの心に植物を植える。 —植物で世界を変えるために挑戦すること

講師：西島 清順(プラントハンター、そら植物園代表)  
今までに訪れた国は33カ国。一年の1/4は海外で過ごし、年間の案件数は2000件を超える多忙の中、日々活動をしている西島氏が、なぜ植物に魅了され植物の力を信じるのか、植物から学んだ独自の植物論や、現在『ひとの心に植物を植える』べく活動しているそら植物園のプロジェクトについてお話しします。(協力：株式会社小学館クリエイティブ)  
■日時：1月21日(木)19:00~20:30(18:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



## 1/29 (金) 千代田区民講座 建築界のジャンヌ・ダルク ~女性の目線で住まいに革命を!~

講師：戸倉 蓉子(株式会社ドムステデザイン代表取締役)  
環境によって人間の生き方が変わることを病院在職中に悟り、イタリアのミラノに建築留学。帰国後に一級建築士の資格を取得した戸倉氏は、「環境を通じて、人を健康で幸せにすること」をミッションに、病院やホテルやマンションなどの住環境づくりで高い評価を得ています。暮らしが輝ける生き方を応援し、日本を元気にするお話しを聞きます。(主催：NPO法人神田雑学大学)  
■日時：1月29日(金)19:00~20:30(18:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料  
※12月5日(土)千代田区民受付開始。区民以外は12月12日(土)から受付開始。



## 1/31 (日) 演劇への入口講座 第5回 はじめての文楽、その魅力 —解説者・人形遣いの立場から—

講師：高木 秀樹(イヤホンガイド解説者)・吉田 勘彌(人形遣い)  
千代田区所在の国立劇場で上演されている伝統芸能の一つに文楽があります。この文楽について、前半は歌舞伎・文楽研究家の高木秀樹氏より文楽の楽しみ方をお話いただき、後半は人形遣いとして活躍中の吉田勘彌氏から文楽人形の仕組み、動かし方などの紹介と解説をしていただきます。  
■日時：1月31日(日)14:00~16:00(13:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名  
■参加費：1000円(千代田区民500円)



## 古文書塾 てらこや 体験講座

◆古文書塾てらこや1月期 特別講座開講◆  
「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。16年1月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。体験講座の実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試しください。  
■日時：12月12日(土)~ 順次開講  
■会場：4階 セミナールーム(会議室)  
■定員：各23名(申込順) ■参加費：各回1000円  
■資料・体験講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 古文書塾てらこや担当

歴史の躍動を感じ、江戸時代の多種多様な資・史料を用いて歴史の具体像を楽しみます。

講座名	曜日・時間	実施日
大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00~	12/22
浮世絵を読む	(水) 10:10~	1/6
江戸を楽しむ 一統・江戸の寺社あれこれ一	(木) 18:30~	12/17
月峯が見た江戸の町ー「江戸名所図会」「斎藤月峯日記」より	(金) 13:30~	12/25
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	12/12

## ● 予告 ● 日比谷図書文化館 特別展 ●

### 祖父江慎 + コズフィッシュ展：ブックデザイン

「うまくいかない喜び」を軸に活動を展開するグラフィックデザイナー、祖父江慎氏。その独特な感性と鍛え抜かれたデザイン力により常に私たちの意表を突く作品を世に送り出してきました。本の中身・内容をいかに伝え、読者に訴え得るかが装丁やブックデザインの基本ですが、優れたデザインはその本の世界をより魅力的に語ります。本展では祖父江氏と氏が主宰するコズフィッシュのブックデザインを通して、フィジカルな「本」の魅力を探ります。  
■会場：1階 特別展示室 ■期間：2016年1月23日(土)~3月23日(水)  
※詳しくは次号で紹介いたします。

## ● 図書特別整理による部分(図書フロア)休館のお知らせ 臨時休館 2016年1月16日(土)、17日(日)

図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスの返却ボックスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部資料を除く)図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。  
※1月18日(月)は全館、休館日です。(文化財事務室は除く)

## ◆ポモース広報室より◆ Merry Christmas

クリスマスはご存知の通りイエス・キリストの誕生を祝うミサですが、クリスマスツリーの歴史は意外と新しく17世紀ごろドイツで始まったといわれています。日本では明治時代後期に銀座の明治屋でクリスマス飾りが始まり一般へと広がっていきました。今年も日比谷図書文化館では1階ホールにモミの木クリスマスツリーを飾り、皆さまをお迎えしています。~12/25(金)まで